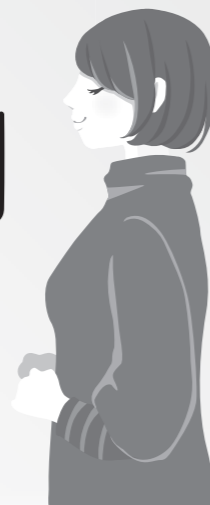


# 4月9日は 「子宮の日」

20歳になったら2年に1度  
子宮頸がん検診を  
受けましょう



## あなたの大切な未来を守るための予防・検診

### 熊本県の20代、30代のがんの第1位は子宮頸がん

15歳から39歳までの年代をAYA世代 (Adolescent and Young Adult) と呼びます。2018年5月、国立がん研究センターは、この世代では年間約21,000人ががんにかかり、またがんの種類は年代によって大きく異なることを初めて公表しました。熊本県の2015年の調査では、男女あわせて20代では138人、30代では450人ががんと診断され、このいずれの年代でも第1位は子宮頸がん(上皮内がんを含む)で、それぞれ全体の65%、52%を占めています(表)。

子宮頸がんは、がん検診によって早期発見されやすいがんであると同時に、その多くは性交によるヒトパピローマウイルス(HPV)感染が原因であり、感染を予防するワクチンの有効性も国内外で示されています。発病までの過程は、異形成と呼ばれる前がん状態や子宮頸部の表面だけにかんがある上皮内がんを経て進行がんに移行し、その間数年~十年を要します。AYA世代は、妊娠・出産を経験する世代でもあり、子宮頸がんが進行した

状態で発見され子宮を摘出せざるを得ない例や、初期がんの治療で子宮を残すことができた場合も、その後の妊娠で流産・早産となってしまう例もあります。妊娠初期には子宮頸がん検診が必ず行われますが、AYA世代の女性では、妊娠に関係なく定期的ながん検診を受けることがとても重要なことです。

熊本県のがん罹患数、部位別順位 (2015年) (上皮内がんを含む)

20~29歳 男女計 罹患数(全部位)138人				30~39歳 男女計 罹患数(全部位)450人			
順位	部位	罹患数(人)	割合(%)	順位	部位	罹患数(人)	割合(%)
1	子宮頸部	90	65.2	1	子宮頸部	232	51.6
2	乳房	10	7.2	2	乳房	71	15.8
3	脳・中枢神経系	6	4.3	3	大腸(結腸・直腸)	25	5.6
4	大腸(結腸・直腸)	5	3.6	4	甲状腺	17	3.8
5	悪性リンパ腫	4	2.9	5	白血病	15	3.3

出典：本県のがん登録 ー平成27年[2015年] (第19報)

お話をお聞きしたのは



熊本大学大学院生命科学研究部  
産科婦人科学

片渕 秀隆 教授

日本産科婦人科学会産婦人科専門医  
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医  
日本婦人科腫瘍学会 副理事長  
日本婦人科がん検診学会 副理事長